

といれしょうきんし トイレ使用禁止



このトイレは、上下水道管の破損状況を確認中のため、**使用できません。**

トイレが詰まると使用できるまでに、さらに多くの時間がかかります。

皆さまのご理解とご協力お願いします。

なお、使用できるトイレは、



にあります。

みんなで守ろう！ トイレ使用のルール



最初に



便器のカバー用として、トイレ袋を1枚かぶせておきます。

1



便器にトイレ袋（サニタクリーン）をかぶせます。

2



用を足す

4



縛ったトイレ袋はゴミ箱に入れてください。

3



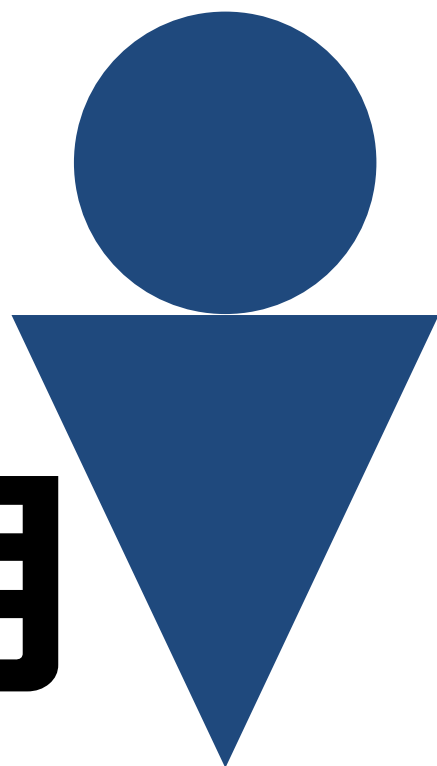
トイレ袋を取って、中身が出てこないように口を縛ります。

5



次の人のために、①のように、便器にトイレ袋を被せておきましょう。

トイレ
TOILET

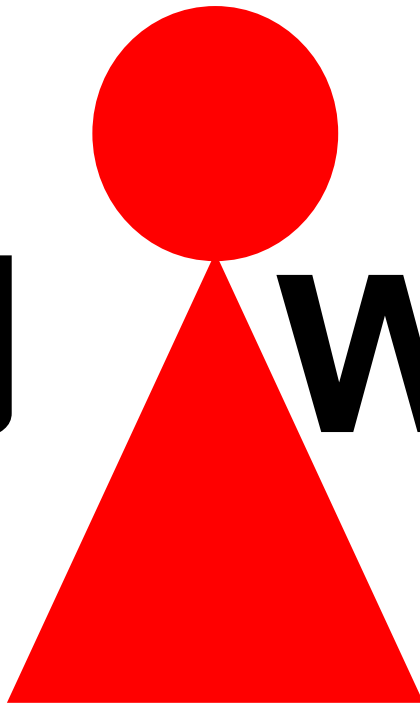


男性用

MEN

トイレ
TOILET

女性用



WOMEN

トイレ
TOILET

要配慮者優先



トイレ

TOILET



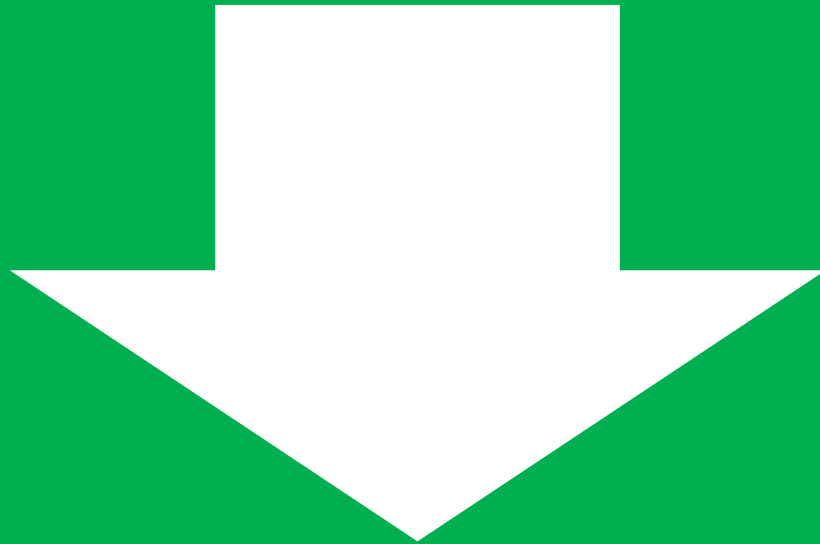
トイレ

TOILET

トイレはキレイに使いましょう

使用済み

汚物入れ





立入禁止

The background of the image is a solid yellow color. It is decorated with a pattern of black diagonal stripes that run from the top-left to the bottom-right. These stripes are arranged in a staggered, repeating pattern across the entire surface.

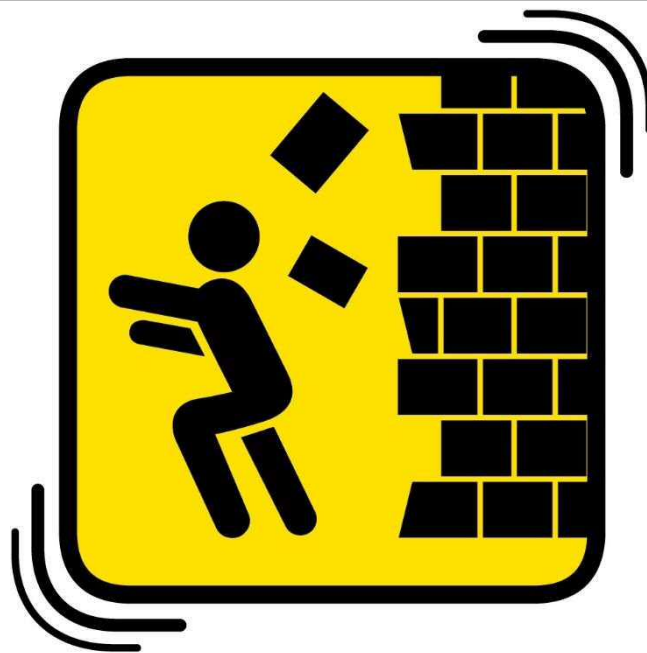
**Do Not
Enter**

たち いり きん し

立 入 禁 止

きけん

危険



へいからはなれる

きけん

危険



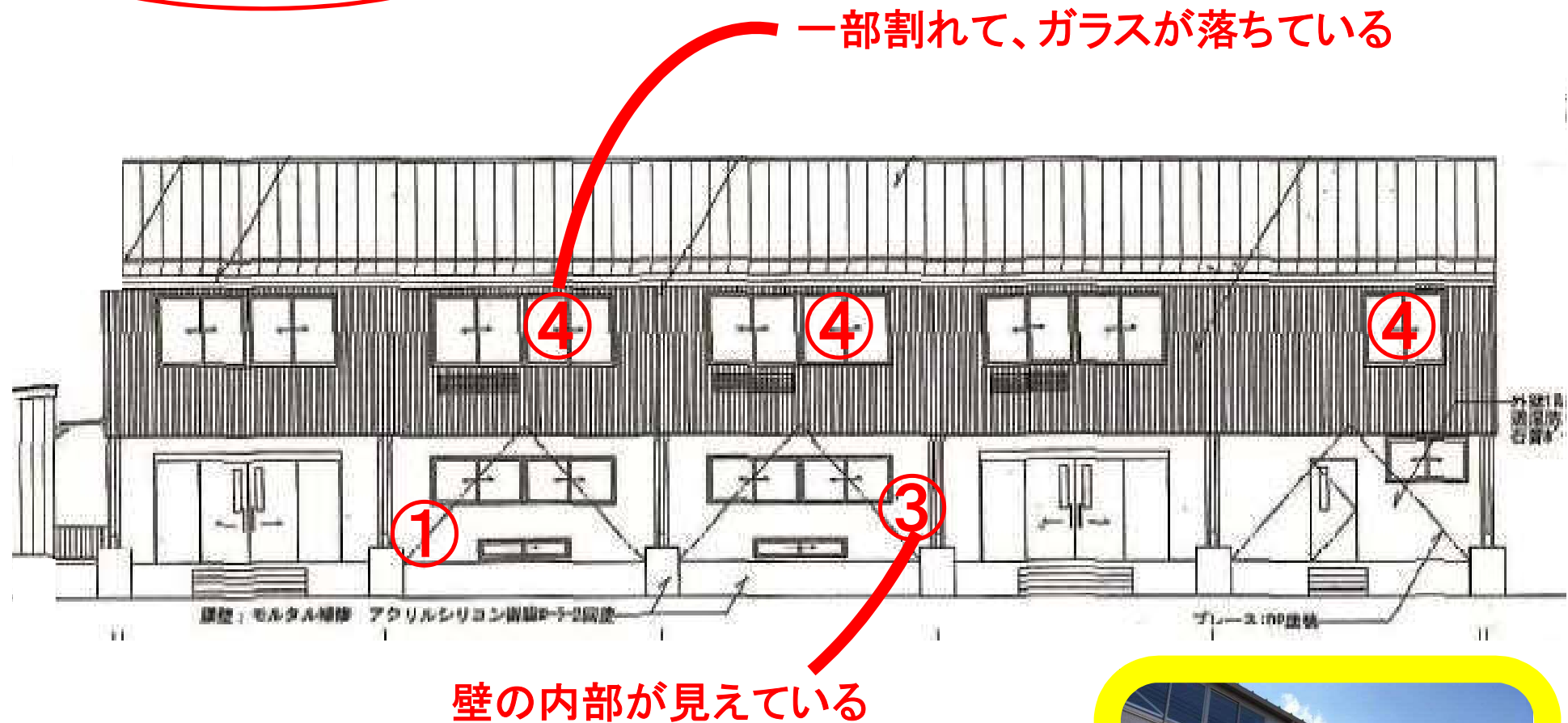
Mission② 体育館（外部）の安全確認

にて使用

体育館 安全確認チェック図

- 地震により、体育館が損傷しているか確認します。
- チェックは複数人で行いましょう。
- 中の図面に赤ペンで書き入れましょう。

書き方(例)

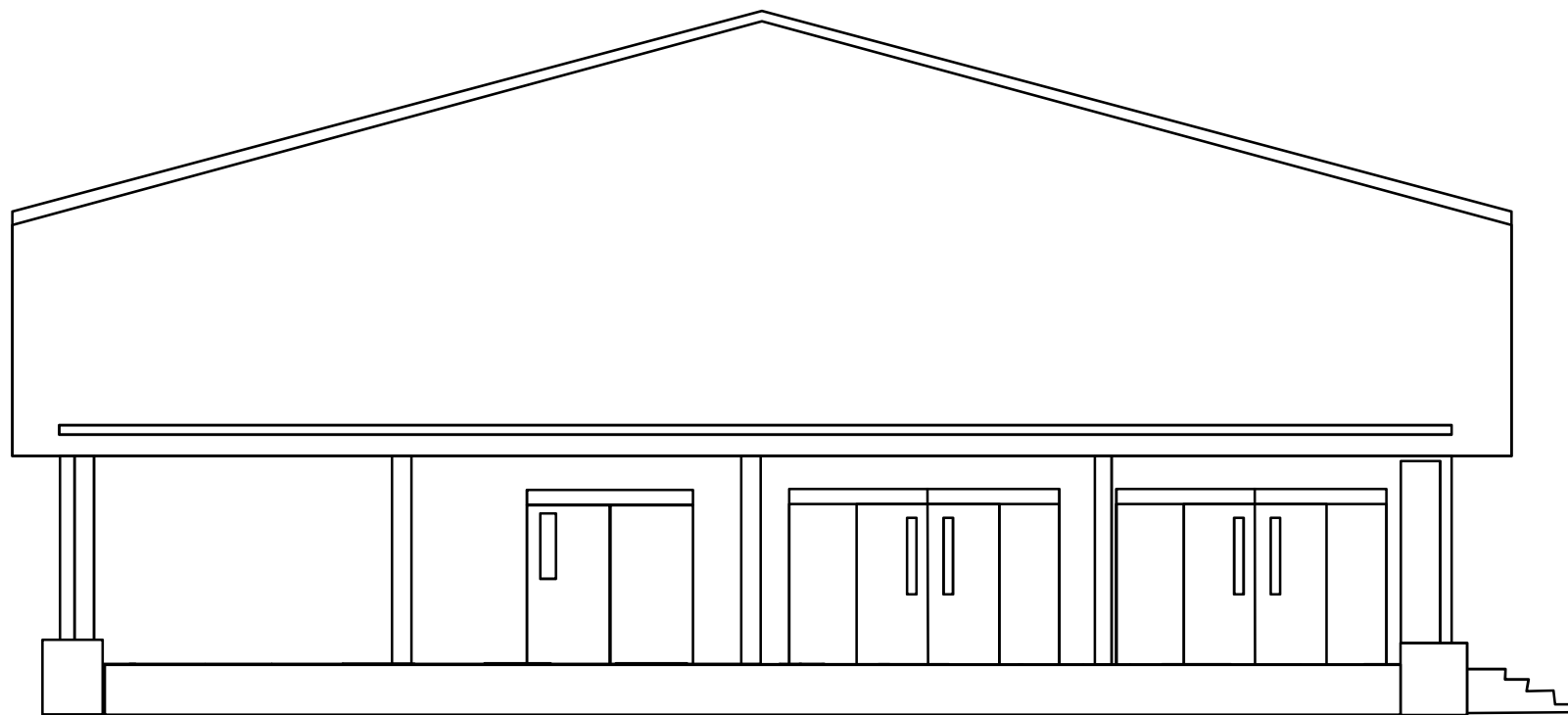


被害項目

- | | | |
|-------|--------|-----------|
| ①壁のヒビ | ②柱のヒビ | ③表面が落ちている |
| ④窓の割れ | ⑤建物の傾き | ⑥落下物 ⑦その他 |



体育館 南側

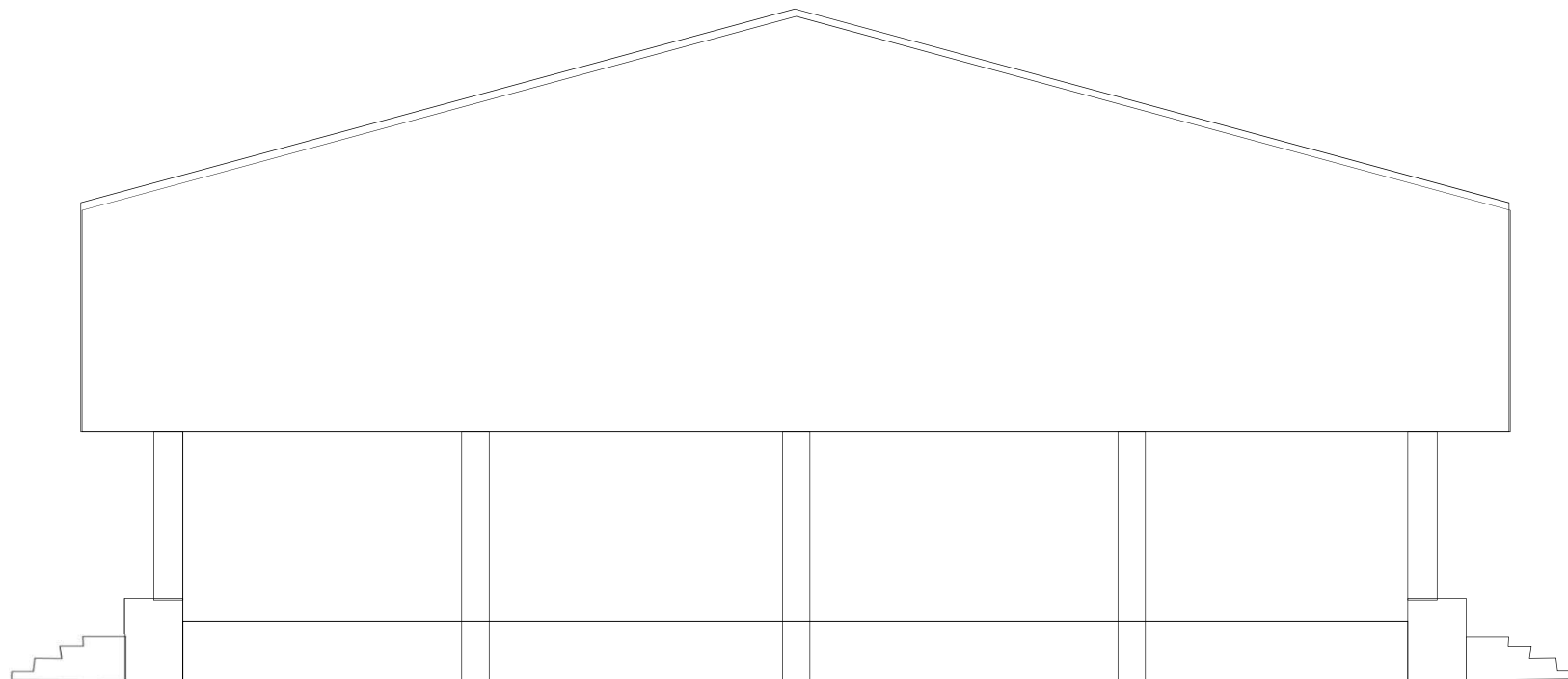


被害項目

- ①壁のヒビ ②柱のヒビ ③表面が落ちている
- ④窓の割れ ⑤建物の傾き ⑥落下物 ⑦その他



体育館 北側

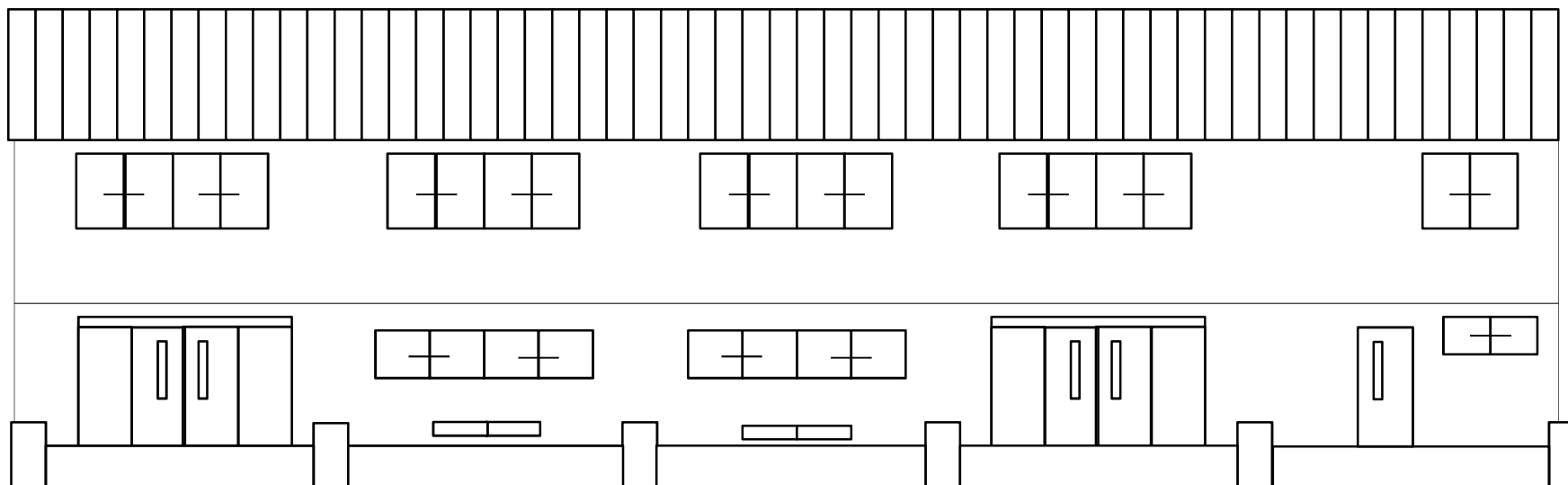


被害項目

- ①壁のヒビ ②柱のヒビ ③表面が落ちている
- ④窓の割れ ⑤建物の傾き ⑥落下物 ⑦その他



体育館 東側

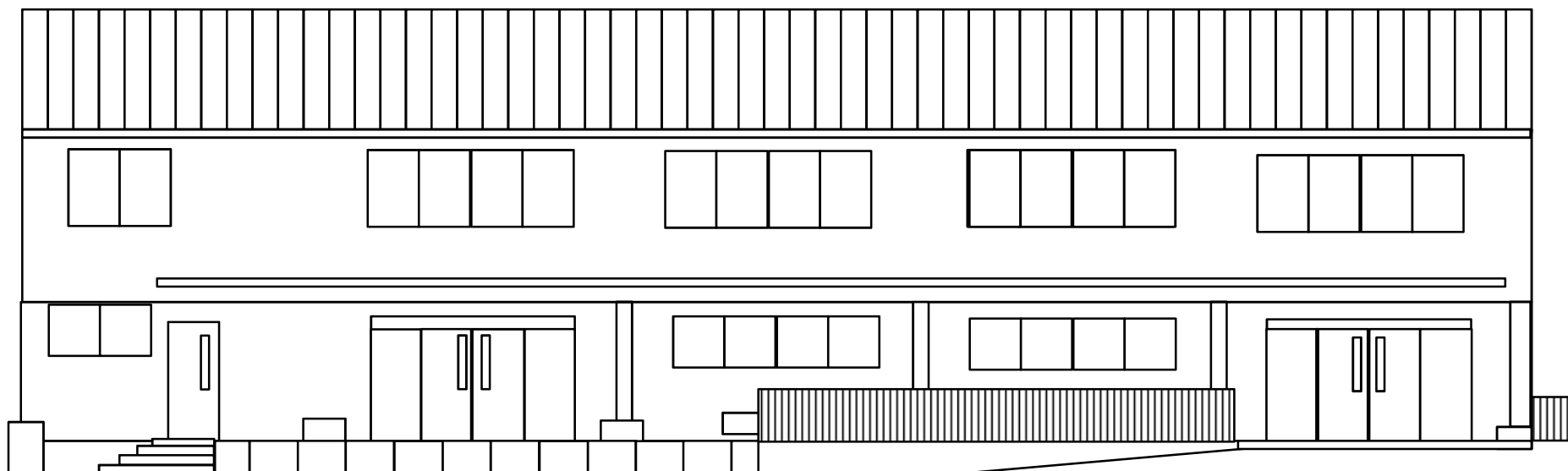


被害項目

- ①壁のヒビ ②柱のヒビ ③表面が落ちている
- ④窓の割れ ⑤建物の傾き ⑥落下物 ⑦その他



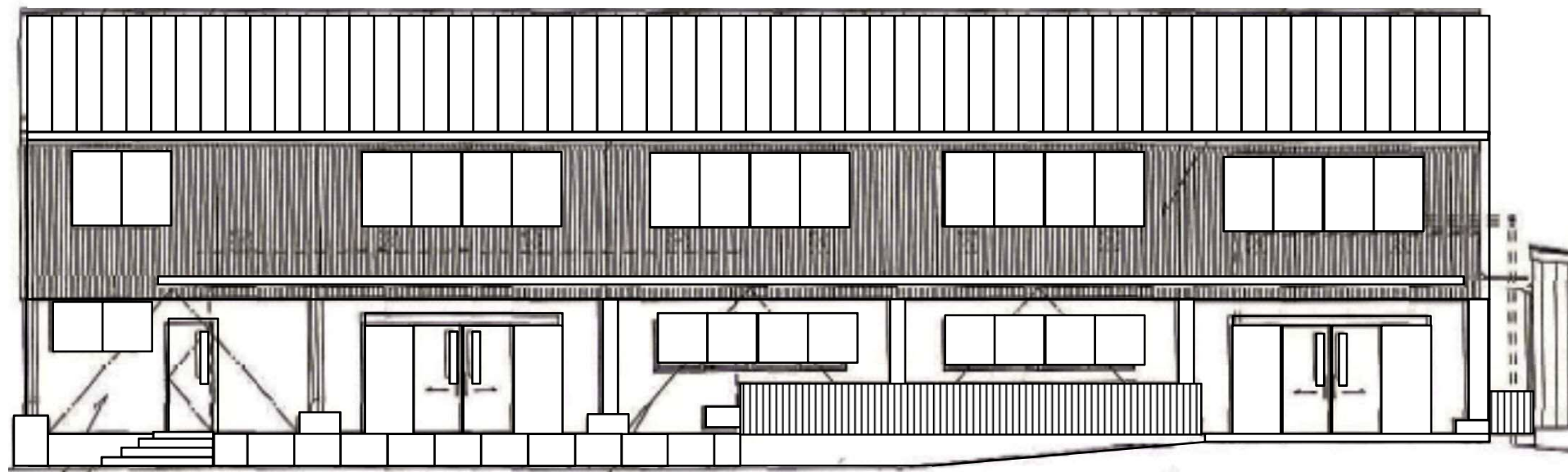
体育館 西側

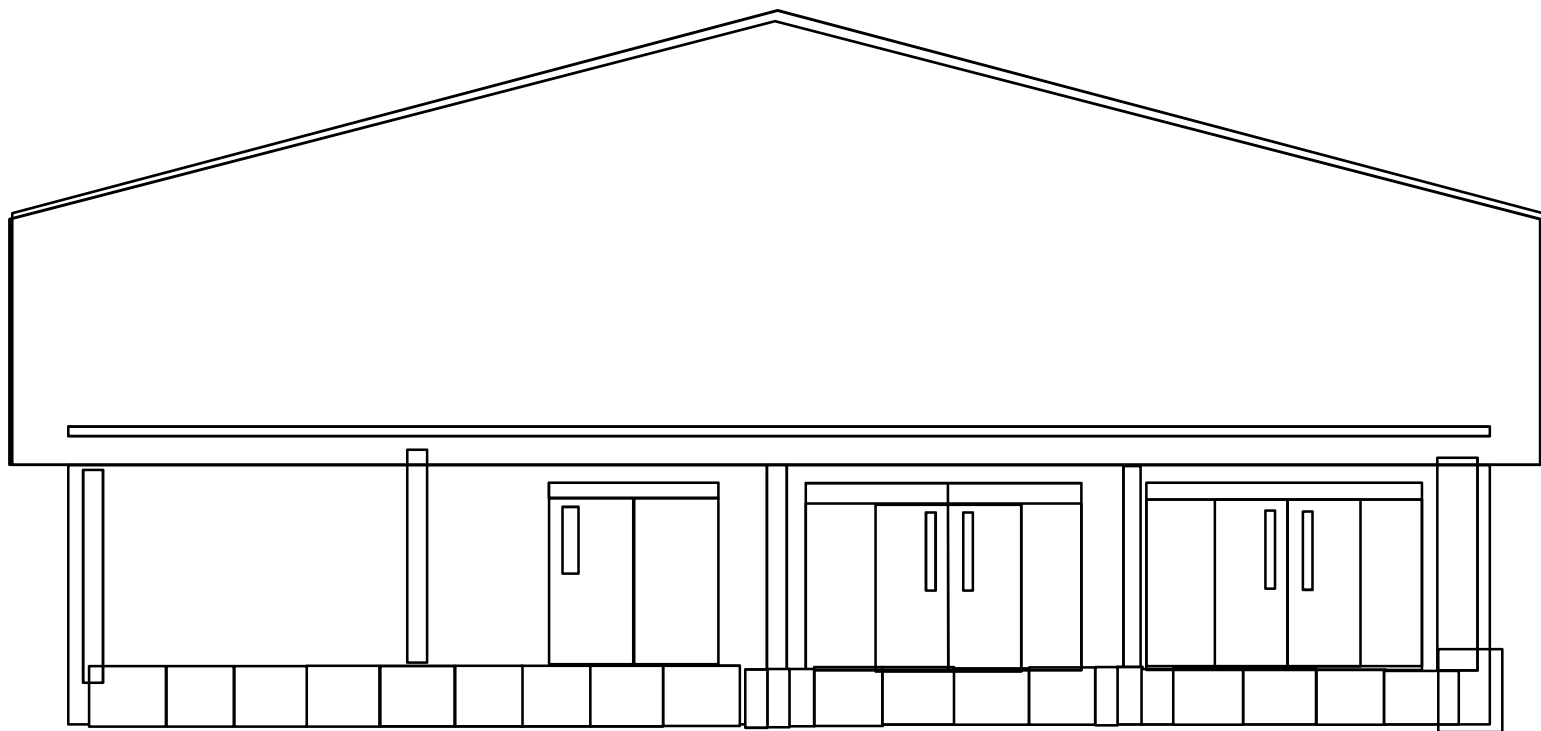


被害項目

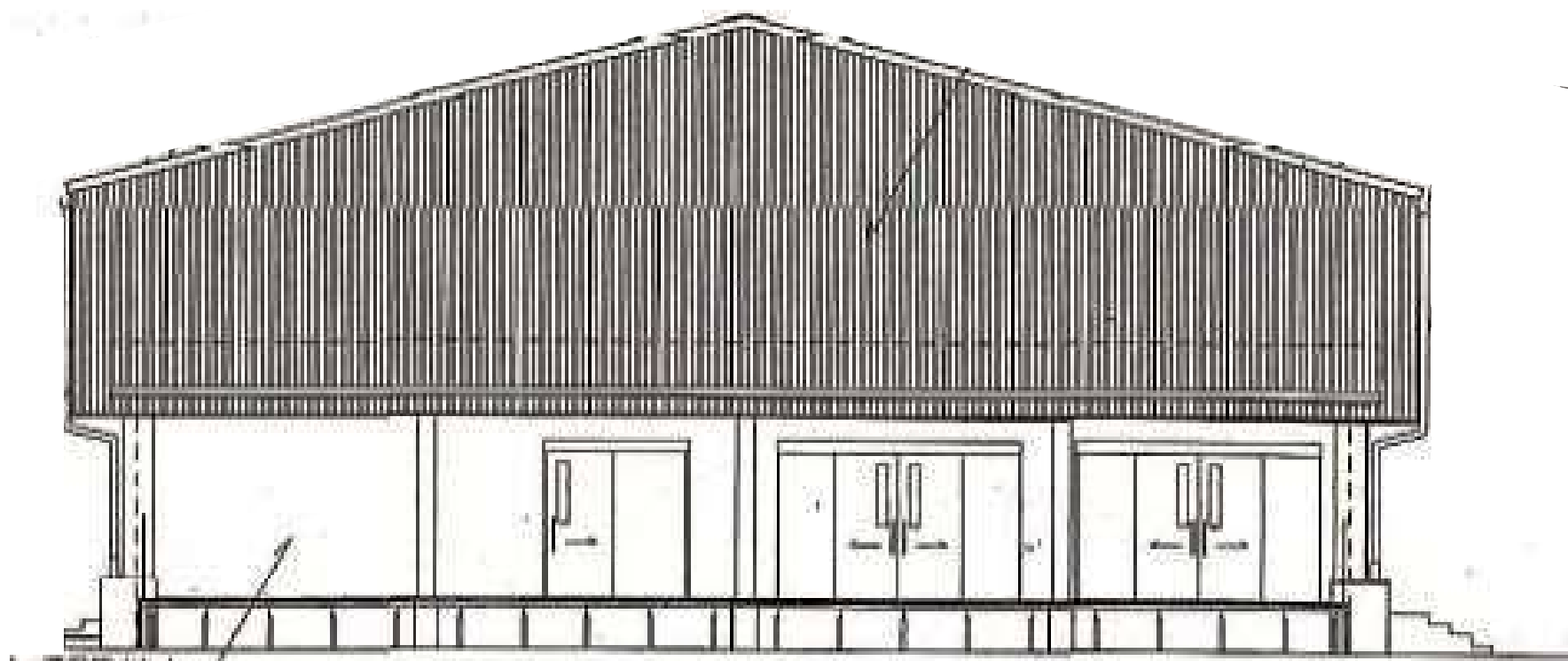
- ①壁のヒビ ②柱のヒビ ③表面が落ちている
- ④窓の割れ ⑤建物の傾き ⑥落下物 ⑦その他







体育館 南側

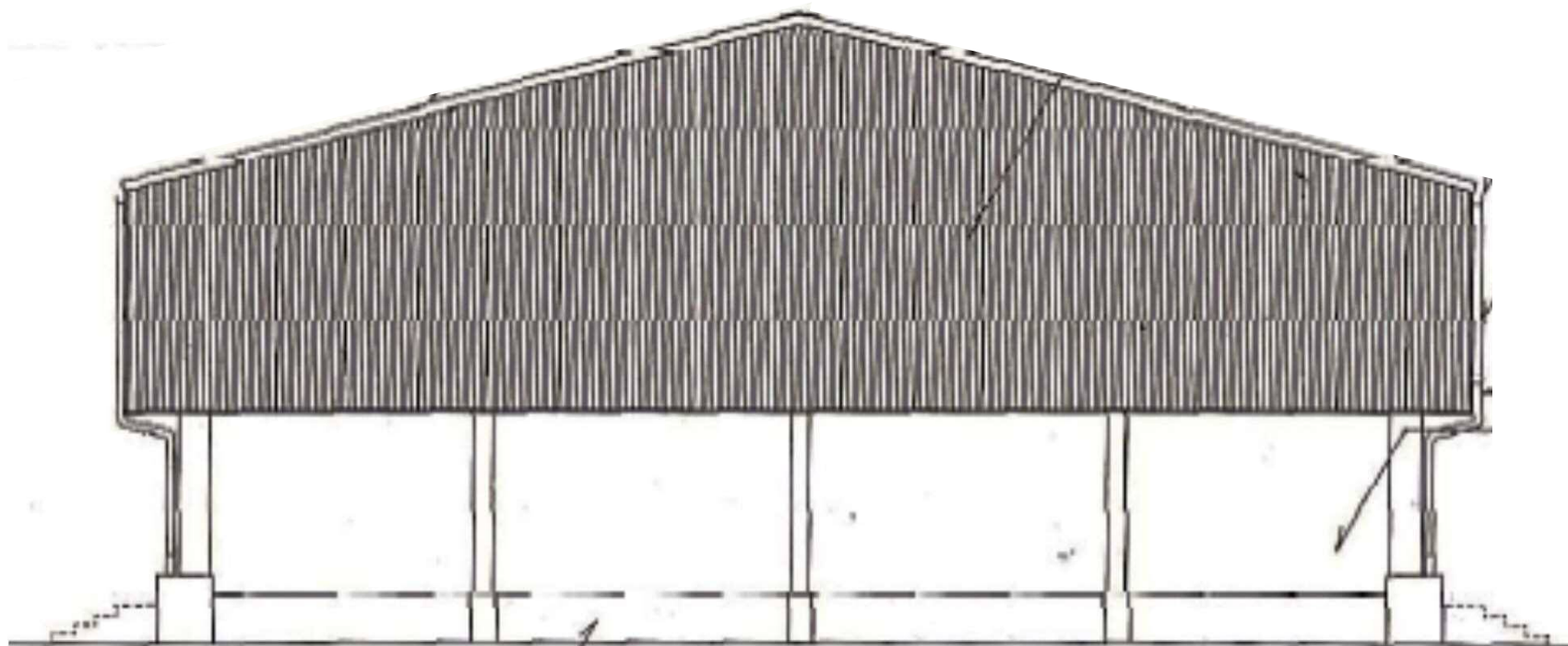


被害項目

- ①壁のヒビ ②柱のヒビ ③表面が落ちている
- ④窓の割れ ⑤建物の傾き ⑥落下物 ⑦その他



体育館 北側

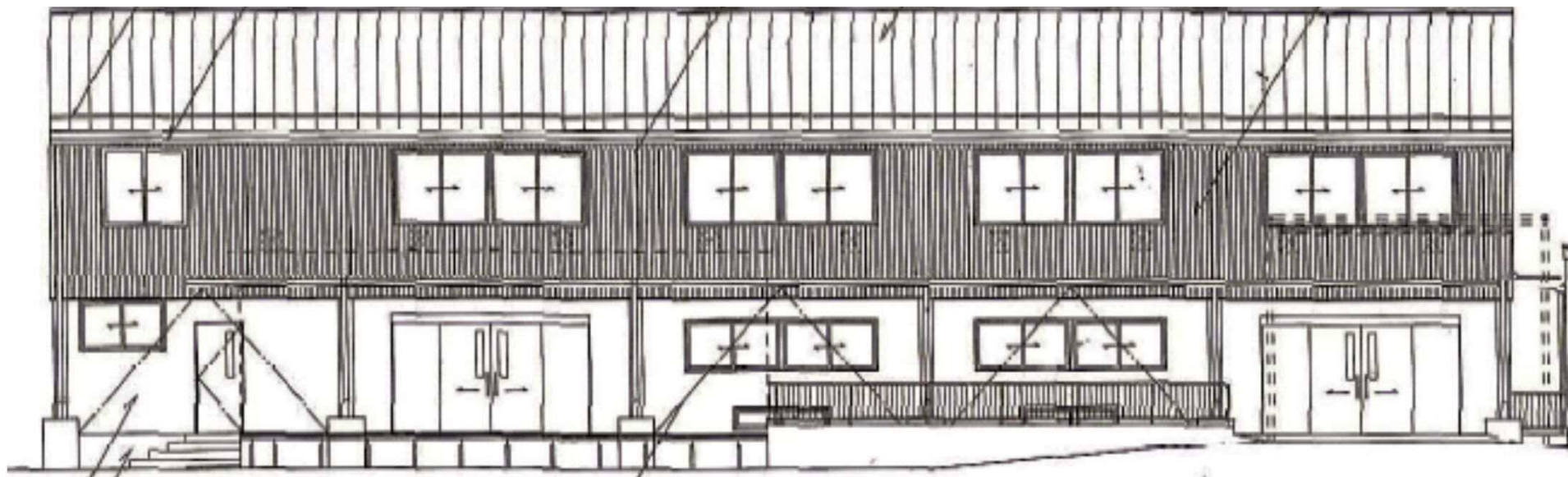


被害項目

- ①壁のヒビ ②柱のヒビ ③表面が落ちている
- ④窓の割れ ⑤建物の傾き ⑥落下物 ⑦その他



体育館 西側

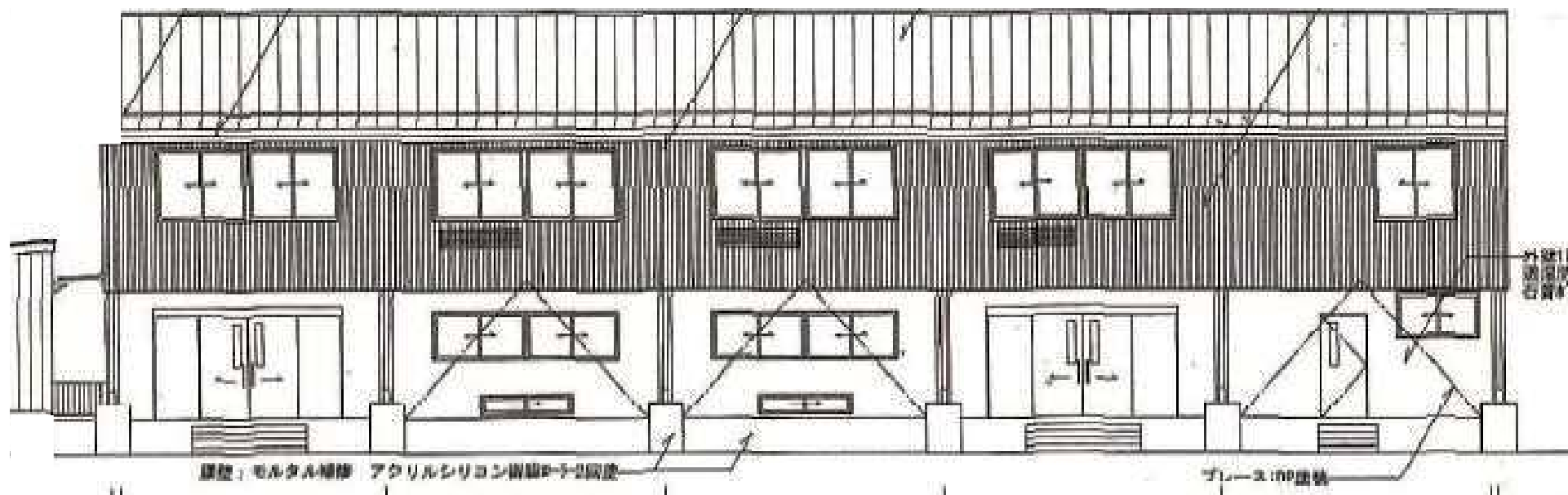


被害項目

- ①壁のヒビ ②柱のヒビ ③表面が落ちている
- ④窓の割れ ⑤建物の傾き ⑥落下物 ⑦その他



体育館 東側



被害項目

- ①壁のヒビ
- ②柱のヒビ
- ③表面が落ちている
- ④窓の割れ
- ⑤建物の傾き
- ⑥落下物
- ⑦その他



【様式 6】

避難所確認票

避難所名 _____

_____年____月____日現在

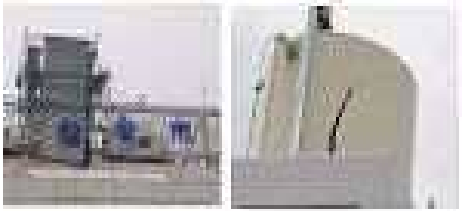
判定 ○=可、×=不可

区 分		確認・点検項目	判 定
体 育 館		1 窓ガラスの破損・飛散はないか	
		2 天井の落下・床面の陥没・壁の剥離はないか	
		3 出入口の扉の状況（開閉）はどうか	
		4 設備、備品の状況はどうか	
校 舎	教 室	1 窓ガラスの破損・飛散はないか	
		2 天井の落下・床面の陥没・壁の剥離はないか	
		3 出入口の扉の状況（開閉）はどうか	
		4 什器・備品の転倒・落下はないか	
		5 使用できる教室はどのくらいあるか（ 室）	
	廊 下	1 防火扉は閉鎖していないか	
		2 渡り廊下は使用できるか	
		3 非常口・非常階段は使用できるか	
校 庭		1 地割れはないか	
		2 液状化はないか	
		3 陥没はないか	
		4 隆起はないか	
防災施設・資器材	プール	1 プール本体の亀裂はないか（漏水の有無）	
		2 プール周辺の亀裂はないか	
		3 給排水管の破裂はないか	
	備蓄倉庫 （校庭）	1 倉庫の外観・内側の変形等異常はないか	
		2 扉の開閉及び施錠は可能か	
		3 収納されている資器材は使用できるか	
	備蓄倉庫 （校内）	1 備蓄倉庫内に異常はないか（天井・壁・床面等）	
		2 備蓄倉庫は使用可能か	
備 考		※周辺状況など	

参 考

「大規模地震発生直後における施設管理者等による建物の緊急点検に係る指針（内閣府）」より引用

項 目	内 容	被害例
構造体の傾き	建物全体、又は一部が崩壊している。 もしくは、1層、又は2層以上の階層がつぶれている。 *使用不可	
	建物の基礎が崩壊している。又は、上部構造体と基礎がずれている。 *使用不可	
	建物全体、又は一部が傾斜しているの がわかる。 *使用不可	
柱・梁の損傷	鉄筋が曲がり内部コンクリートも崩れ 落ちている構造柱・構造梁が1本以上 ある。又は、窓や出入り口付近でサッ シが曲がり床が沈下している箇所が1 箇所以上ある。 *使用不可	
	大きなひび割れ（裂け目が2mm以上 又は深いひび割れ等）が多数あり表面 のコンクリートも落ちているが、鉄筋 は曲がっておらず、内部のコンクリート も落ちていない構造柱・構造梁が、 全体の10%以上ある。 *使用不可	
壁の損傷	鉄筋が曲がり内部コンクリートも崩れ 落ちている耐力壁が1面以上ある。 又は、窓や出入り口付近サッシが曲が り床が沈下している箇所が1箇所以上 ある。 *使用不可	

	鉄筋は曲がっていないが、壁の向こう側が透けて見える耐力壁が 10%以上ある。 *使用不可	
落下物	窓枠・ガラスに歪みやひび割れがあり、落下の危険性がある。 *落下しそうな場所を避けて建物の使用は可能	
	モルタルやタイル等にひび割れや剥離等がみられ、落下の危険性がある。 *落下しそうな場所を避けて建物の使用は可能	
	看板・機器（タンクやクーラー用の屋外機器など）が傾斜している。 *落下しそうな場所を避けて建物の使用は可能	
	屋外階段が傾斜、破損している。 *屋外階段周辺を避けて、建物の使用は可能	
	天井面に歪みや隙間、破損等が見られる。 又は、壁際と天井の隙間（余裕）や接合部が平常時と比べて移動・破損している。 *該当するものがある部屋は、使用不可	

【様式 7】

設 備 確 認 票

避難所名 _____

年 月 日現在

設備	確認・点検	使えない場合の対処
ガス	☐ ガス臭くないか ☐ ガス器具に損傷はないか	☐ 窓を開け、ガス栓を閉める ☐ ガス、電気、火は使用しない
電気 ガス漏れがない場合のみ	☐ 電灯はつくか ☐ 電気器具から異音・異臭はしないか、水に浸かった形跡はないか	☐ 発電機や照明機器などを設置する ☐ 異常のある電気器具は使用しない
水道	☐ 水は流れるか ☐ にごりや異臭はないか ☐ 漏水していないか	☐ 飲料水の備蓄はあるか ☐ 井戸やプールなど生活用水として利用できる水はないか
通信	☐ 通話できるか ☐ FAXが使えるか ☐ メールは使えるか ☐ インターネットはつながるか ☐ 防災行政無線は使えるか	☐ 他の伝達手段(携帯電話など)を確認する
放送	☐ 放送設備や無線は使えるか	☐ 拡声器・メガホンなどを利用する
トイレ	☐ 室内は安全か(落下物など危険はないか) ☐ 便器は使用可能か(破損はないか) ☐ 水(上水)は出るか ☐ 下水は流れるか ＊下水が流れる場合でも、周辺の下水施設が破損している場合もあるため、状況把握ができるまで水の使用は自粛し、簡易トイレを使用する	☐ 室内が安全で、便器が破損していない場合は、トイレを使用可とするが、下水の使用が可能であるとの状況が確認できるまでは、汚物処理袋を使用する ☐ 室内が安全でなく、便器が破損しているような場合は、トイレは使用禁止とし、災害用のトイレを設置する

【様式 21】

_____年____月____日 作成

避難所状況報告書〔初動期〕

避難所名_____

開設日時		年	月	日	時	分
閉鎖日時		年	月	日	時	分
☐ 第1報（参集後）		☐ 第2報（3時間後）		☐ 第3報（6時間後）		
発信者名						
送信日時		年	月	日	時	分
避難者数		約 人				
避難世帯		約 世帯				
周辺 状況	建物安全確認	未実施 ・ 要注意 ・ 危険 ・ 安全（暫定）				
	人命救助	不 要 ・ 必要（約 人） ・ 不明				
	延焼	な し ・ 延焼中（約 件） ・ 大火の危険				
	土砂崩れ	未確認 ・ あり（ 箇所） ・ 警戒中 ・ な し				
	ライフライン	断 水 ・ 下水使用不可 ・ 停 電 ・ ガス停止 電話不通				
	道路状況	通行可 ・ 渋 滞 ・ 片側通行 ・ 通行不可				
	建物崩壊	未確認 ・ ほとんどなし ・ あり（約 件）				
避難者数増減見込み		増加 ・ 減少 ・ 変化なし				
緊急を要する事項（具体的に箇条書き）						
参集した行政担当者						
参集した施設管理者						
受信確認欄						
区本部	受信者名					
	受信日時	年	月	日	時	分
	備考欄					

組み立て手順

訓練項目	ア 簡易トイレの組み立て、収納 イ 簡易トイレの使用方法の確認
使用資器材等	ア 簡易トイレ イ 軍手

(1)「ドント・コイ」組み立て要領



①箱の中から部品を取り出す。



②袖金具を左右に延ばす。切り込みが入っている部分(黄色シール)が内側で向き合うように置く。



③袖金具の黄色シールにフラットバーを置く。



④架台とアングルの赤シール部分の穴を合わせ、その上からポールを差し込む(ポールは先が細い方を上向きにする)。



⑤正面シールが手前になるように、便槽外箱をフラットバーの上に乗せるように枠内にセットする。



⑥ポール上部をアーム(両端が円になっているもの)でつなぎ、天井桟を3本差し込む。



⑦両端と片端がフック型になっているアームを、天井梁の中央上につなげるように差し込む。



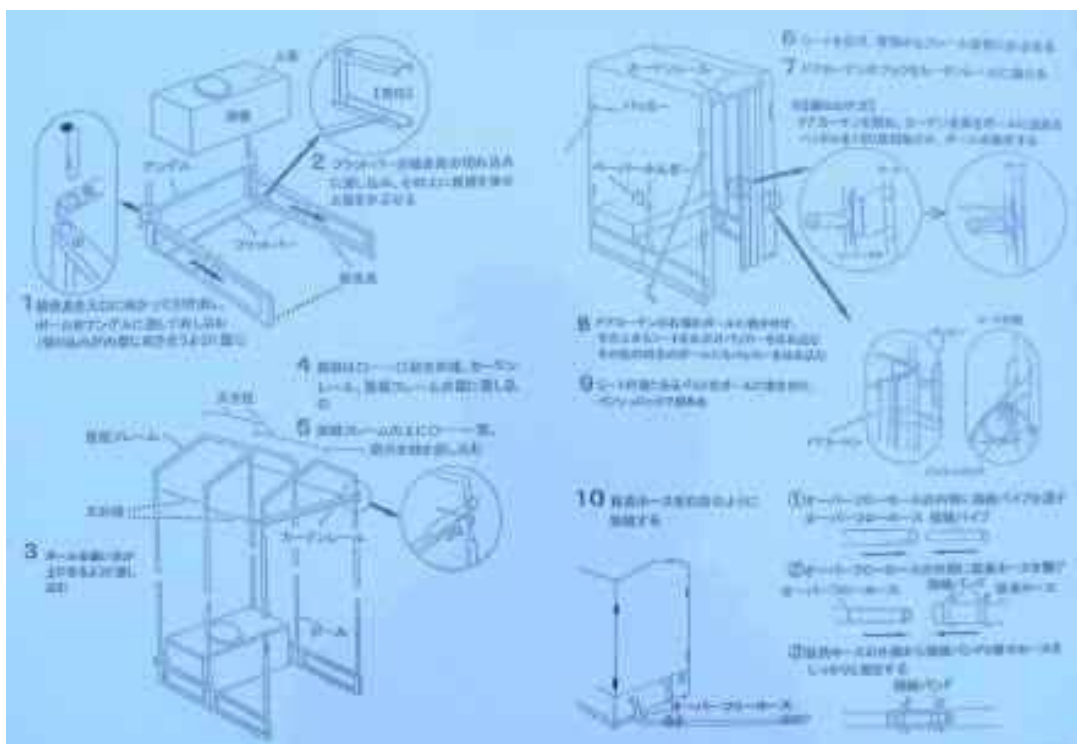
⑧カーテンをレールのフックに掛ける(ポケットが付いている方が外側になる)。



⑨テントを広げ、背部からフレーム全体にかぶせる(三角メッシュ布部分が正面になる。)



⑩組み立て完了



※ドント・コイ取扱説明書(R ライジングファーム)より抜粋